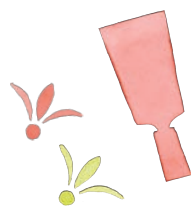


# 築田寺だより

Ryoudenji Letter



2021.12

## 今は昔

齋藤筍堂謹也 一築田寺住職

こども園や保育園をやっていますと、びつくりする言葉が二〜五歳児から出てきます。先日は二歳の子から「私は昔ね：したの」と言われ、わずか二歳の子には全てが「今」と思っていたのに驚きでした。そういえば、中学高校生からも「俺さ、昔さ：」と言われます。七十五歳になっている私には、八十代の人からは「まだお若い」と言われます。年齢並に膝が痛い、腰が痛いと嘆いているのに。今は昔、過ぎ去れば全て昔であ



かわいい園児たち

りあつという間です。さすれば明日には未来。夢です。省みれば昭和五十二年、任職となった記念として本堂前の境内の真真中に先代の一字と色紙を刻んで石碑を建てました。「夢」このお寺を夢の寺としたいの思いからこの字を選択しました。陳腐な選択のようですが、夢で人とながるお寺となるようにと願いました。本堂裏の庭園も昭和五十六年完成で実は古いものではありませんが、かつての伝承を再現したものです。今では竜王が池は、始めからと思われていて田んぼだった時代を知る壇家も少なくなりました。今は昔でも今を夢で生きる寺の拠点となるよう願ってやみません。池の石は徳島の方から、造園は数多くの著作のある造園家齋藤忠一先生。しっかり人の縁を結び直して明日に向かっていきましょう。現在、副住職を先頭にしています。期待と同時にご支援ご理解をお願いいたします。何にしろ継続は難しい。それに、長生きもけっこう大変ということも、この年齢になつて分かりますね。

「東向山貞憲院築田寺」が正式の名です。全て、人の姓名に関する語です。「貞」は平貞盛公、「憲」は上杉憲定公、「築田(やなだ)」は半兵衛正勝公夫妻の姓となります。分かりやすいですね。初開創は天慶二年(西暦九三九年)真言宗、再開創は応永十六年(一四〇九年)浄土宗、重開創は寛永六年(一六二九年)曹洞宗、あと八年で四〇〇年。初開創から言えば一〇八三年にもなっています。あと一八年で二一〇〇年前。すごい歴史ですね。小なりと言えども将門の乱や関東管領上杉家、桶狭間の戦いの時の第一の功労者。東福門院と言った「歴史」につながっていくお寺です。前には鎌倉古道、北には矢倉沢(大山)街道の分かれ道。真東に向く谷戸の地形の中「東向山」の山号もいいですね。そこにつながる墓地に入っているご先祖たち。いい所に落ち着かれています。だれと各家この縁を大事に思つて次代に伝えてください。コロナ禍でご先祖に対する接し方などが簡略化されざらう得なくなつてきています。どうやって次代へつないでいけばいいのか考えてみてください。

# 〔年回表〕

◎一周忌	令和三年
◎三回忌	令和二年
◎七回忌	平成二十八年
◎十三回忌	平成二十二年
◎十七回忌	平成十八年
◎二十三回忌	平成十二年
◎二十五回忌	平成十年
◎二十七回忌	平成八年
◎三十三回忌	平成二年
◎五十回忌	昭和四十八年
◎百回忌	大正十二年

法事は家族だけでも十三回忌くらいまではやりませんか。思い出してもらうことは嬉しいことです。特別なことと考えず気軽に来れる人だけでもお寺で行いましょう。コロナ禍で葬儀や法要のあり方が変わりつつあります。一日葬や直葬も増えて参りました。あり方はともかく故人との絆をどう形に表すか丁寧に考えていきたいと思います。ご相談は気軽にどうぞ。

朝日さす  
やなだの寺の観世音  
水に月影  
うつるちかひは

薬田の観世音菩薩は本堂に入って右側の室中の薬田一族の位牌のある真ん中の十一面千手眼菩薩像がそれにあたります。今年もいっぱい野の花が咲きました。これは、寺族齋藤美智子が好きで丹念に一つずつ植え増やしたものです。野草は花が咲くと急に名前が知りたくなったり、どんな花が咲くのか興味をもったりするのですが、日々は忘れられやすいものです。鎌倉でも一カ寺長谷寺の隣寺で野草をいっぱい植えている寺があります。寺族の努力が大変だろうなと訪ねるたびに思います。幸い薬田寺の三方から湧き流れる水は鉄分が多く植物には良いようです。三十年ほど前でした。この水を汲みに毎日来られた方が息子さんに飲ませて続けて三ヶ月。お陰で治りまし

たと御礼を言われたことがあり  
ます。昔の寺ではこの水で生活していましたが、人間にもいいのかなと思つています。  
ところで宗祖道元禪師は、「朕兆未萌(ちんちょうみぼう)」という言葉が大好きです。つまり「もの兆しも未だ現れるぬ前」私たちにいつか兆しが現れると信じましょう。今、私たちが生きている今にも今後生ずるであろう縁の開け方があり、悟道するのは己の縁に従つてこそ思われます。その中に自然観照があります。しっかりと見つめ、さらに見つめ直して萌える機縁が見られるようになりたいものです。  
◆令和三年も無事に行事を終了いたしました。

- ①元旦大般若会 ②初午
- ③涅槃会 ④春彼岸会
- ⑤花まつり ⑥棚経 ⑦秋彼岸会
- ⑧大施餓鬼会(九月彼岸中日)
- ⑨参禅会(毎週日曜)
- ⑩臘八接心(五ヶ八日) ⑪読経会
- ⑫葬儀十八件 大練忌納骨等年忌法要
- ⑬先住寺族三十三回忌(内勅十二月)
- ⑭北側山林樹木整備開始

◆薬田寺は、自己・他己の人心の寺です。常に流転している世界の人々と寄り添い続けるために拙寺も転じなければなりません。今この地を利用して人は主に次の方々です。

- ・上山崎町内会役員会
- ・東香会しぜん国保育園(関連園五園)
- ・正和学園町田自然幼稚園(こども園十四園)
- ・薬田寺日曜参禅会
- ・NPOネパールミカの会
- ・YATOの会
- ・茶席「白月居」
- ・薬田寺墓地檀信徒
- ・一処の碑信徒
- ・見学者、東司(トイレ)利用者(行政の希望により利用許可)
- ・スリランカ婦人支援(人形制作)

薬田寺は明年より若干の工事に入ります。特に東側の庫裡を修繕して厨房宿舎を作り、皆様の利便を図りたいと考えています。その為、住職等は仮住まいをしております。日中は幼稚園保育園にいらすことも多くお寺にいない時があります。次の者が留守番を兼ね寺務にあたりますので境内で声をかけると電話してください。

住職 ○九〇・七三二・二二二〇  
鎌谷祖禪(金・土曜)  
大矢さゆき(月・水・木曜)